

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	英文購読		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2 年		学期及び曜時限	後期	教室名	303
担 当 教 員	若林健一	実務経験と その関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
英文の論文の読解を通して、論文の構造や英文の読解力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 課題:70% 2. 出席:20% 3. 平常:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
人工知能やIT系の英文論文						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
多くの人が英語に対する苦手意識が先に働いてしまうけれど、構造的に理解することや各種ツールを活用することで読み解くことができるので、できるという気持ちで臨んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	英日翻訳のポイント、ツールの使い方などを知る	PC 翻訳ツール		
		各コマにおける授業予定	英文の読み方			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外のニュース記事を翻訳し紹介する	PC 翻訳ツール		
		各コマにおける授業予定	英文記事の翻訳①			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外のニュース記事を翻訳し紹介する	PC 翻訳ツール		
		各コマにおける授業予定	英文記事の翻訳②			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外のニュース記事を翻訳し紹介する	PC 翻訳ツール		
		各コマにおける授業予定	英文記事の翻訳③			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ニュース記事翻訳を通じて、自分の苦手なところつまづいたところを整理し対策を考える	PC 翻訳ツール		
		各コマにおける授業予定	英文記事翻訳振り返り			

授業の方法				
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文の基本構造を理解する	
		各コマにおける授業予定	論文の基本構造	PC 翻訳ツール
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	あらかじめ選定した同じ論文を各自で読み解き紹介する	
		各コマにおける授業予定	論文の翻訳と読解①	PC 翻訳ツール
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	あらかじめ選定した同じ論文を各自で読み解き紹介する	
		各コマにおける授業予定	論文の翻訳と読解②	PC 翻訳ツール
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	あらかじめ選定した同じ論文を各自で読み解き紹介する	
		各コマにおける授業予定	論文の翻訳と読解③	PC 翻訳ツール
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	Google Scholarなどを用いて輪読する論文を探索する	
		各コマにおける授業予定	論文探索	PC 論文検索サービス
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分が担当した論文の内容と議論したいポイントをシェアし、全員で意見を交わす。	
		各コマにおける授業予定	輪読①	PC 翻訳ツール
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分が担当した論文の内容と議論したいポイントをシェアし、全員で意見を交わす。	
		各コマにおける授業予定	輪読②	PC 翻訳ツール
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分が担当した論文の内容と議論したいポイントをシェアし、全員で意見を交わす。	
		各コマにおける授業予定	輪読③	PC 翻訳ツール
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分が担当した論文の内容と議論したいポイントをシェアし、全員で意見を交わす。	
		各コマにおける授業予定	輪読④	PC 翻訳ツール
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前期を通して身につけたことを振り返り定着させる	
		各コマにおける授業予定	前期振り返り	前期に翻訳した記事や論文、中間まとめのメモなど